



上郡のマスコットキャラクター
円心くんとエイトちゃん

さわやかに歴史と未来の出逢うまち

ががが ぶみ ぶみ

議会だより

No.59

平成18年[2006]
11月1日発行

平成17年度
決算認定

P2

予算の補正

P3

先進地に学ぶ

P5

一般質問

P7~11

新しい議会構成

P12



“どっちも がんばれ!”

定しました

一般会計・特別会計 支出総額

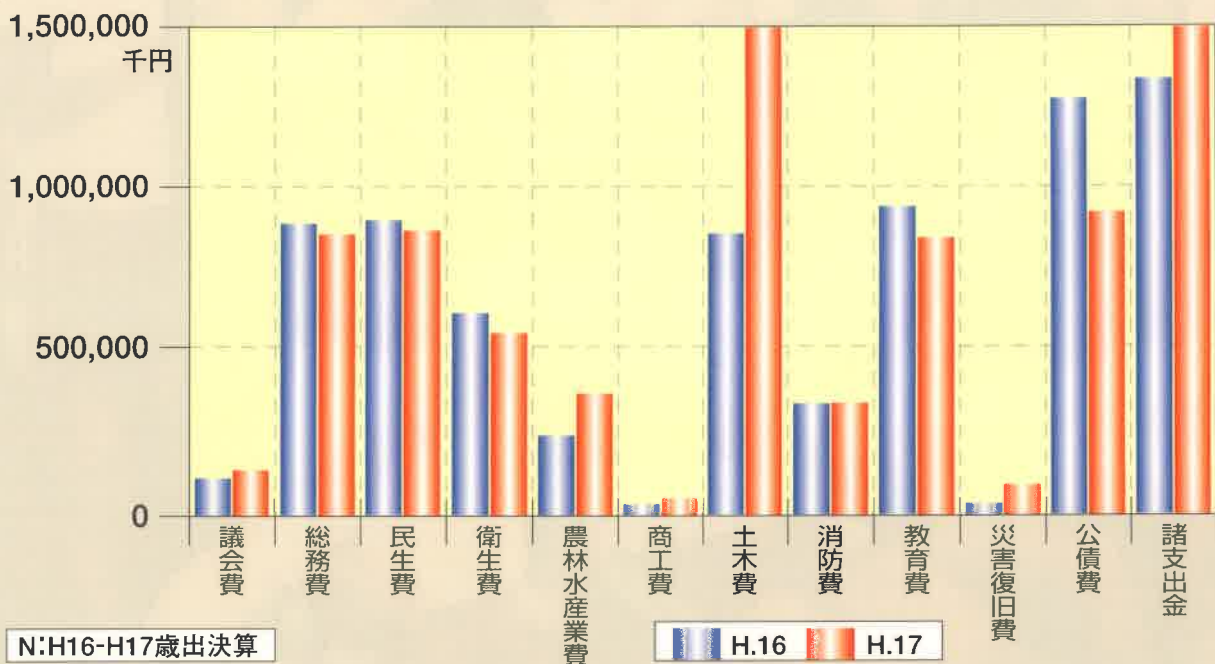
145億1,992万6千円



9月定例議会は、教育委員の任命、平成17年度一般会計及び特別会計の決算認定、工事請負契約締結（駅西ポンプ場建設工事委託）、条例の一部改正5件（教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部、非常勤の公務災害補償に関する条例の一部、上郡町消防団員等公務災害補償条例の一部、上郡町国民健康保険条例の一部、上郡町福祉医療費助成条例の一部）、条例制定（企業職員の特殊勤務手当に関する条例の廃止）、平成18年度一般会計及び特別会計の予算補正、義務制第8次教職員定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度の堅持に関する請願など31議案すべてを可決致しました。

また、一般質問には9人の議員が質問に立ち、町政を質しました。

一般会計の内分け



（※17年度の土木費の伸びはハイツあゆみの建設が主な理由です。）

N:H16-H17歳出決算

平成17年度の

決算を認

決算への意見

単位：千円

会計別	H16年度 歳出決算額	H17年度 歳出決算額	
特別会計	7,519,651	6,020,327	
特別 会計 内 訳	住宅改修建設資金貸付事業	5,617	5,051
	国民健康保険(事業勘定)	1,491,855	1,624,350
	国民健康保険(直診勘定)	67,230	21,451
	簡易水道事業	37,339	33,603
	老人保健医療事業	2,086,380	2,043,356
	介護保険事業	986,171	1,028,614
	農業集落排水事業	241,774	250,948
	公共下水道事業	2,216,630	839,547
	山野里工業団地造成事業	2,656	4,504
	研修センター管理運営事業	171,941	128,587
公営墓園事業	212,058	40,316	

議会から

委託料・補助金

・裏付け資料となる証拠調書を明確に！
・補助対象事業の成果の追求が乏しい。
完了の確認のみで終わらせてはいけ
ない。

予算

・流用は適切妥当に！

・きびしい予算編成としながら不用額
が多かった。見積りは慎重に！

水道料金・町営住宅・健康保険

・未収金の回収及び維持管理の徹底を！

老人保健医療

・健康管理指導、病気の早期発見・早
期治療及び生きがい対策で医療費抑
制を！

監査委員から

未収金・滞納

町税・国民健康保険税・住宅使用料
の未収金が増加している。早急に徴収
方策を講じ未収金回収に全力を注げ！
必要でない町営地の処分も検討せよ。
補助金など

交付基準・規則の設定・事業報告書
の作成など早急に改善を図り、統廃合・
廃止を含め、効率的な運用を！

大型事業など

事業の遅れは費用・経費の増大につ
ながる。効率的に事業を実施し、早期
完成を図らねばならない。

教育委員の 再任を同意



上郡町西野山95番地
山本善治郎氏(65才)

水道事業会計

単位：千円

事業名	歳入額	歳出額
収益的収入及び支出	394,326	320,913
資本的収入及び支出	452,808	673,637

資本的収支の差引不足額は、過年度損益勘定留保
資金・消費税などで補填。

予算の補正

一般会計	1億5635万1千円
特別会計	2億1609万6千円
合計	3億7244万7千円

の増額

(主なもの)

駅前区画整理	4891万1千円
公共下水道	1億1871万9千円

決まりました

工事請負契約

契約の目的	公共下水道事業 上郡町駅西ポンプ場 建設工事 委託
契約の方法	随意契約
契約金額	11億円
契約の相手方	東京都港区赤坂6丁目1番20号 日本下水道事業団

- ・ 出産育児一時金が、30万円から35万円になりました。
- ・ 医療制度改革に伴い特定医療費が廃止され、保険外併用療養費が支給されることになりました。
- ・ 企業職員（水道事業所職員）の特殊勤務手当（漏水修理業務等）月額30000円が廃止されました。

条例が変更されました



駅西ポンプ場建設予定地

請願

- ・ 義務制第8次教職員定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度の堅持に関する件。

- ・ 出資法の上限金利の引き下げ等、「利息制限法」、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締に関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める件。

- ・ 道路整備の財源確保を求める件。

以上3件を意見書を添えて関係省庁に提出しました。

合併調査検討特別委員会報告

「3年以内」に

6月20日

国民健康保険事業、介護保険事業、各種福祉事業、水道事業及び学校給食に関することについて協議しました。

学校給食について、給食センター建設の「合併後3年を目途」の提案を「3年以内」にするべきだ。また、赤穂市と同じ給食方法をとってもらいたいなどの意見が出ました。

「きちっと」決めるべきだ

6月30日

提案された優先協議6項目の調整方針について協議しました。調整方法で、「新市発足までに調整する」とあるが、きちっと決定して住民の判断をおおぐのが筋だ。

「目途」とか「新市において決定する」とか「当分の間」などの調整案が多い。

優先項目だからこそ、協議会の場で決めるべきだ。

「良い点」を主張するべきだ

8月8日

第11回合併協議会の報告を受け協議しました。

学校給食について、「3年以内」というのが議会の意見ではなかったのか。また、塵芥処理についても、「ごみの分別収集は上郡町が進んでいる。町の良い点も主張するべきだ」などの意見が交わされました。

先進地に学ぶ



総務文教常任委員会

小中一貫教育と 税徴収について研修

平成18年7月27日(土)～28日(日)
熊本県とみあい富合町・美里町みさと

小中一貫教育特区認定を受けた富合町の、教育課程基準によらない弾力的な教育を視察。基礎教科の重点的指導は当町と方針を同じくしており、今後は発展的な学習と、伝統文化活動などどう取り入れていくかの示

俊をいただいた。
また、美里町では、税を徴収する方法の具体的な例を、また納税者に対する義務意識を高める啓発活動などを学び、当町において参考となる研修となった。

福岡県玄界島 地震災害復旧に学ぶ

日程 7月12日～13日
研修先 福岡市西区玄界島

博多湾の入口付近に浮かぶ周囲約4kmの島、玄界島に平成17年3月地震が発生した。海から採取した石を積み上げて斜面に住宅を建設していた為に大きな災害となった。

同年5月「玄界島復興対策検討委員会」を島民中心に立上げ、全員が私有財産を市に差し出し、市による復興を要望した。地元と市が協力し短期間で事業が進んでいった。

当町においても災害時に反映出来るべく大変有意義な研修でした。



土木水道常任委員会

地域の物産から 振興機能を学ぶ

日程 6月28日～29日
研修先 新潟県新潟市・五泉市ごせん

五泉市は、新潟県のほぼ中央に位置し、緑豊かな山々と清流に包まれた肥沃な大地から生み出す作物と地場産業である織物が全国的な生産地となっております。

地域の魅力を活かした観光と物産の振興機能を学び、県内一の拠点施設の視察と、子育て支援、高齢者の生きがい活動について研修してきました。



厚生経済常任委員会



議会運営委員会

以上の説明を受けて研修を行いました。それぞれ町の方針や地域性(真及び郡部の方針等)によるものもありますが、今後上郡町議会運営にも参考にすべきところが多く見受けられました。

町議会への関心を持ち議会を身近に感じていただくため、模擬議会(小中学生・女性など)の要請があれば議場を開放する。住民を代表する機関及び傍聴者が感じたことのアンケート調査。全員協議

町民に開かれた 議会運営について

日時 平成18年7月3日～4日
研修先 宮城県亘理町・山元町わたり

会で全議員が共通理解の下に報告書を取りまとめ、定例会終了後速やかに議会運営と活性化の進捗状況をチェック。土曜日曜の休日議会の開催などを実施している。また、町議会への関心と理解を深め住民からの信頼を強めるために、議員と住民との懇親会を開催している。

「読まれる 広報紙」を 常に意識して

平成18年6月26日～27日
宮城県 大和町たいわ

大和町における広報紙づくりは、議会の審議内容を中心に、議会活動の状況や行政の動きを広く町民に知ってもらうことに主眼を置いている。

編集方法には、当町になかったアイデアがいくつもあり、今後の紙面づくりに活用できる、実り多いものであった。



広報委員会



工藤 崇 議員

問 町長は「合併の期日は、夏までに決まる。いつまでもだらだら協議をやるのはよくない」と言ってきた。合併協議もすでに3年になるが未だ

答 は時間も予算も無駄

「合併期日」も決めない協議会は無駄

に期日の提案さえもしていない。これはゴールも決めずにマラソンをしているのと同じで、協議することに意味が見えない。

答 タウンミーティングでも「9月に合併期日を提案する」と言ったが、赤穂市長との詰めができなかった。
問 基本的な問題を今さら「詰める」こと事態が正常でない。本気で合併する気持ちが町長



藤本ゆうき議員

問 政治姿勢について
物から心、量から質への価値観の展開を図り、原点回歸し、心の豊かさを大事にする思いやりのある心を持つ事が大事である。これは政治の世界においても必要不可欠で

物から心、量から質へ

政治姿勢について

ある。町長はこの4年間、郷土土郡に對しどれほどの思いやりの心を持って町政を進めてきたのか。

答 町がどうあるべきか、町民にとってどういう町であるべきかという事に対応してきた。実現しようとして実現できない事もある。総括すると100点とは言えないが、合格点は取れていると思う。

問 公約の重みをどう認識されているのか。

答 私は公約を話して、今の立場にある。公約を100%実現するというのは理想であるが、状況で出来ない事もある。しかし、なるべく実現する事が政治家の務めだと思う。最終的には町民に判断してもらおう。

消防団について

問 町民の安心・安全な生活を守る為に尽力をいただいており、私達住民は力強く頼もしく感じている。現在、活動



いざという時のために・・・

分野においては、男性が主流であるが、今後の活性化対策等の一環として、女性の入団を積極的に進めるべきと思うが。
答 女性団員は全国的に見ても多岐にわたって活動している。女性団員が組織化されるよう推進を図ってきたい。

にあるなら町民にそんな言い訳はしないし、赤穂市にべこべこした態度はとらないはず。
答 期日は次回に提案する。
問 提案すると言っても次回の合併協議会の日程さえ決めていないではないですか。

答 次回に提案する。

中学校移転に交通安全、治水対策を

治水対策を

問 安全な通学路対策、及び、該当地域は遊水地域と言われており地域住民に不安の声がある。周辺の治水対策を。

答 できるかぎりJ R踏切をルートとしない通学路を検討する。周辺地域には、道路、用排水計画による治水対策を行う。



上郡駅にて

町長の4年間の実績を問う

問 合併について、行政と議会とがうまく進んで来たと思われませんか。

答 当然双方の意見があり、議会とも意見が合わないこともありその結果が現在であります。

問 給食はなぜ実現しなかったのか。また、3年目途とは。

答 センター方式で実施予定で3年目途としておりますが、なるべく前倒しにするという努力をしていきたいと思っております。

問 大型ごみ処理施設建設は反対ではなかったのか。

答 ごみ処理施設に反対したものではありません、建設位置に問題があることで当初は反対していたが、処理水は

流さない施設であるとのこととで、環境事務組合が設立され、そのことについて取り組む必要があると判断しました。

問 工業団地の企業誘致の現状は？

答 町有地が一部残っており企業に売却する方向で進めております。

問 JRダイヤ改正に関してどのように関わってきたか。

答 JR神戸支社に出向き、上郡が利便性が悪くなったこと、要望事項としては新

快速の増便、上郡駅の整備などであります。



工業団地

調査もしない公約か

就任3ヶ月で公約変更

問 11町ゴミ処理施設の新設場所の移転を公約として当選した町長は3ヶ月後の施政方針演説で早期実現推進を訴えている。昨日の答弁で鞍居川に問題の無い施設だから賛成



阿部 昭 議員

したと発言しているがこれは公約を発言する前に調査も研究もしていないことになる。首長の公約とはそんなに軽い事なのか、説明を求めます。

答 立候補する前に私なりに調査は致しましたが外部からの知りうる情報には限界があった。そして私が就任前にすでに11町の首長が全部で合意をしていた。下流に影響を与えないことを

4年間で

出来なかった給食

確認し合意した。

問 給食を実施するべく給食センターの設計も発注し、土地の買い増しも議会で議決されたにもかかわらず先送りにされついに実現出来ませんでした。議会軽視もはなはだしい。有権者に対してどのように説明できるのかお答え下さい。

答 給食問題についてはギブアップしたわけではありませんが、財政的にむずかしい問題もあり実現出来な



給食センターの完成予想図

った。

任期中に出来なかったと言われましたがその点につきましては十分でなかったと思っております。

その他の質問

- ・ 17年度一時借入金金の説明
- ・ 今後4年間の財政計画